



ケンタロ・オノ氏

仙台市出身 幼いころテレビで観たキリバスの美しい景色に魅せられ、15歳で単身キリバスへ渡る 首都タラワの高校を卒業し、1996年に日系貿易会社に就職 2000年に日本人として初めてキリバス国籍を取得し、日系キリバス人一世となる 2013年の東日本大震災を機に仙台に再移住 キリバス共和国名誉領事として日・キ両国の政治・経済・民間交流促進などにあたっているほか、キリバスをはじめとする環礁国における地球温暖化・海面上昇の現状に関する講演を多数行っている



キリバス共和国

地球温暖化で起こっていること

キリバス共和国名誉領事ケンタロ・オノ講演会

国土消滅の危機！キリバスの現状を知ってください
赤道直下、三十三の島々からなるキリバス共和国。面積は佐渡島より少し小さく人口は十二万人。海抜は一、五〜二メートル、山もなければ川もない。温暖化の影響で海岸は侵食が進み浸水する家が増えてきている。キリバスが水没したら、その危機はいずれ同じ島国の日本にも。



主催：河北町環境を考える会
後援：河北町 / 河北町教育委員会 / 河北町環境保全町民会議
河北町区長会 / 河北町婦人会 / 河北町消費生活研究会
河北町婦人文化教室 / 河北町食生活改善推進協議会
河北町商工会女性部 / JA寒河江西村山女性部河北支部
河北町商工会 / 河北町社会福祉協議会 / 河北町医師会
河北町ボランティア連絡協議会 / 河北ライオンズクラブ
河北ロータリークラブ / 河北青年会議所 / かほく冷たい肉そば研究会
問合せ：kafoku_kankyo@yahoo.co.jp TEL 090-6782-0576 (逸見)

8月28日(月)

午後 6 時 30 分開場 (午後 7 時開演)
会場：サハトベに花 大ホール
参加費：1,000円 (中学生以下無料)
(キリバスヘソーラーランタンを贈る支援金を含む)



キリバスにソーラーランタンを贈ろう

太陽のサンサンと輝く島国キリバスには、ソーラーランタンが有効活用できるのではないかと、当会の会員がケンタロさんをお願いしてサンプルを持参していただきました。するとどうでしょう。その答えが以下のメールです。

☑ 大変お世話になっております。

今週月曜日にキリバスを発ったのですが、接続便の関係から今日（木曜日）ようやく経由地のフィジーを立ち日本に戻りました。さて、お送りいただいたソーラーランタンですが、各所に寄贈したところ大変好評でした。特に漁業省から大きな感謝を伝えてくださいとの伝言を承りました。

なぜ漁業省かというと、キリバスの人たちは海の民で、海と生き海に生かされているため、非常に気軽に漁に出ます。しかし途上国であるため GPS など安全装置を持たずに（持てずに）漁に出る人が多く、大変残念ながら海難事故が非常に多い国です。

このソーラーランタンを漁に出る人たちに普及できれば、大人たちが安全に漁に出ることができ、その結果父親や親族を亡くしてしまう子供たちを少しでも減らすことができると思います。どうぞよろしく願いいたします。

キリバス共和国名誉領事・大使顧問
ケンタロ・オノ 拝

この度の講演会の参加費の中には、このソーラーランタンをキリバスに贈る支援金が含まれています。多くの方に呼びかけてできるだけたくさんのランタンを贈りたいと思います。ご協力よろしく願いいたします。

河北町環境を考える会